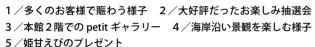
道の駅たるみずはまびら2周年記念感謝祭 様々なイベント開催に多くの人で賑わう













11月22日、23日の2日間、開駅2周年を迎えた道の駅たるみずはまびらで、記念感謝祭が開催されま した。日頃の感謝を込めた各店舗での記念セールや、お楽しみ抽選会などの様々なイベントが行われ、 多くの人で賑わいました。さらに、地元特産のとんとこ漁で獲れた姫甘えびや、施設の花壇を整備して いるダマスクの風から花苗のプレゼントもあり、訪れたお客様からは、「とてもいい企画だと思います」 「いっぱい店があって楽しかった」「景色が綺麗でビックリしました」などの感想がありました。開駅か ら2周年を迎え、ますます地域の拠点としての力が発揮される「道の駅たるみずはまびら」今後も多く の皆さんのご利用をお待ちしております。

11月24日、垂水校区合同金婚式が文化会館 で開催されました。金婚式は、結婚50年目を 祝うもので、垂水校区の合同金婚式は、昭和 61年頃から行われています。今年は、同校区 で 15 組のご夫婦が金婚式を迎えられ、当日は、 田中和海さん・クニ子さんご夫婦(上犬之馬場)、 末松慶四郎さん・静子さんご夫婦(下宮町)が 出席されました。会場では、夫婦の絆を確かめ 合う固めの盃や記念品贈呈、祝儀舞が披露され、 夫婦のますますの幸せを祝いました。



水校区合同金婚式 結婚 50 (年を祝

未来の地球と私たちの暮らし& エコバッグ作り



11月21日、「未来の地球と私たちの暮らし& エコバッグづくり」が垂水市市民館で開催され ました。これは、将来を担う子どもたちが、環 境問題や環境保全に関心を持ち、行動するきっ かけづくりを提供するため、鹿児島県が「学ぶ 環境体験学習塾」事業の一環で実施したもので す。参加者は地球温暖化が地球に与える影響な どを学んだあと、オリジナルのエコバッグを作 成しました。終了後には、「こまめに電気を消す・ マイバッグを持参したい」などの前向きな感想 が聞かれました。

11月23日、協和地区公民館で、恒例の赤ちゃ ん土俵入りが行われました。これは、豊年と赤 ちゃんの健やかな成長を願うもので、協和地区 の伝統行事となっています。今年は、12名の 赤ちゃんが力士役の住民と土俵入りし、それぞ れの名前の書かれた色紙に手形・足形を押し 破魔矢などの縁起物が家族に配られました。赤 ちゃんたちが土俵入りした周りでは、家族や地

域の方々の歓声や笑顔が溢れ、温かい空気に包

まれていました。



立山隆一さん 垂水市に寄附金



▲左から立山益子さん、立山隆一さん、長濱副市長

11月12日、京都府で近江クーパレジ株式会社 を経営される立山降一さんより寄附金をいただ きました。寄附のきっかけは、立山さんの祖父 で、会社の創業者である源亟(げんのじょう) 氏の故郷が垂水市中俣だと聞き、今宮神社を訪 れた際、灯篭に祖父の名が刻まれており、会 社の創業が100年を迎える年での発見に大き な縁を感じたとのことです。立山さんは「ご縁 のある垂水市の発展の為に役立てていただけれ ば」と話されました。ご寄贈ありがとうござい ました。

> 赤協和 つゃん土俵入り船地区伝統行事

41 | Tarumizu City Public Relations